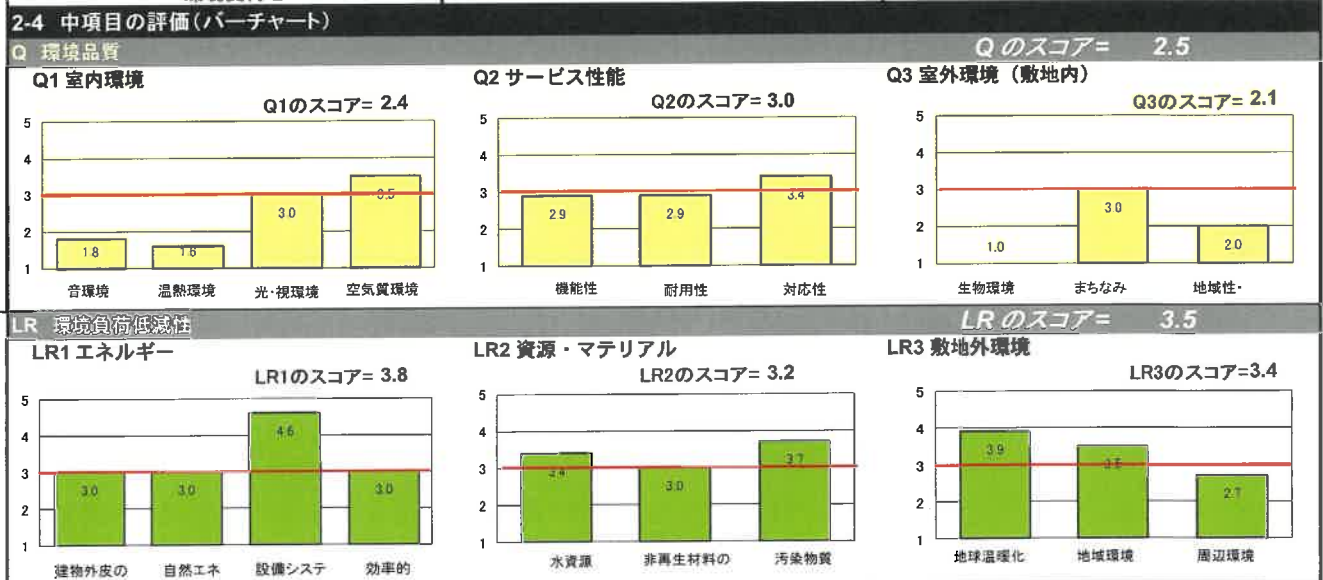
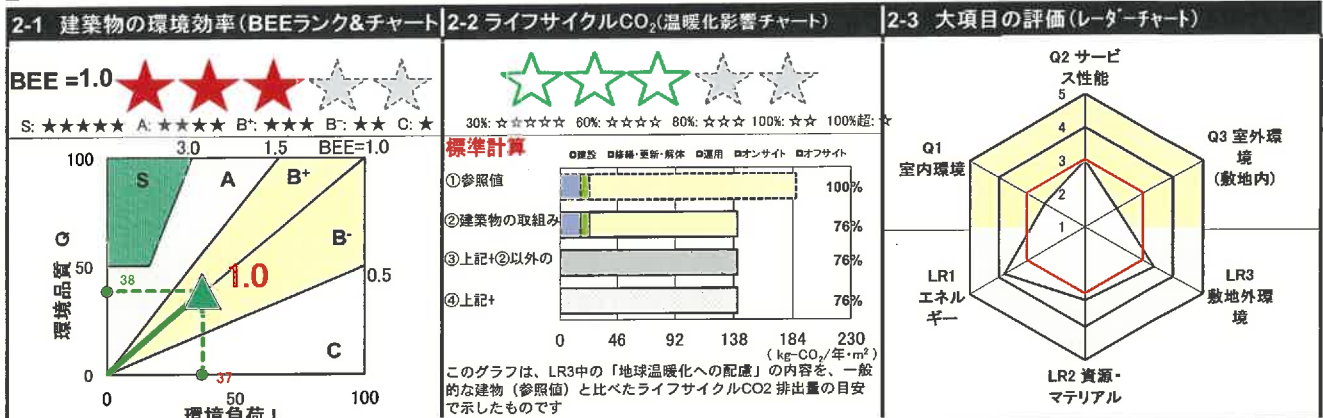


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称) TRIAL鳥取大代店 新築工事	階数		
建設地	鳥取県鳥取市大代202-1, 外2庫、鳥取市立川町5丁目43-1	構造		
用途地域	準工業地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	物販店	評価の段階		
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日		
敷地面積	9,567 m ²	作成者		
建築面積	4,903 m ²	確認日		
延床面積	4,858 m ²	確認者		



B 設計上の配慮事項			その他
総合			
・不特定多数の方が利用する施設であるため、安全に配慮した設計を目指している。			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）	
・建築材料は全てF☆☆☆☆建材を使用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避した。	・環境衛生上良好な状態に維持するために内壁に防塵・ヨゴれ止めの塗装や、作業室や生ゴミ庫には防カビ塗装のうえ水勾配とし水を使用して洗浄可能な設計とした。 ・物品、機器などの搬入を多く伴うため、維持管理しやすいよう極力段差のない設計とした	・建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・窓等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。 ・高温排熱の放出部を設置しないことで、敷地内歩行者空間等の暑熱環境緩和に配慮した	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
・高効率の照明、空調機器を採用し、省エネルギーに努めた。	・節水コマ・省水型機器を採用し、水資源保護に努めた。	・燃焼機器を使用しないことで、大気汚染防止に配慮した。 ・適切な量の駐車・駐輪スペースやサービス車両の駐車スペースを設けることで、敷地外での路上駐車防止に努めた。 ・歩行者専用、入口専用、出口専用の駐車場導入路を設け、出入りを円滑にすることで自動車が渋滞にならないよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される